

ほ場整備整地工における「ICT建設機械による施工」の積算について

(1) 積算歩掛

1. 適用範囲、2. 施工概要、3. 機種を選定、4. 施工歩掛

「土地改良工事積算基準（土木工事）」における土地改良事業等請負工事標準歩掛「ほ場整備整地工（標準区画 0.3ha 以上）」（以下、「ほ場整備標準歩掛」という）によるものとする。

5. 単価表

①ほ場整備整地工 1ha 当り単価表（ブルドーザ及びバックホウをMG又はMCで行う場合）

※ただし、「表土はぎ取り」、「表土戻し」については、原則、ICT施工の対象外とする。

※摘要欄の別表については、ほ場整備標準歩掛による。

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---------|---|----|--|--|
| ブルドーザ運転 | 排出ガス対策型 (第2次基準値) 湿地 20t 級 | 日 | TD_{ICTd} | $TD_{ICTh} = TD \times 0.5 + TD \times 0.5 / 1.2$ $TD_{ICTd} = TD_{ICTh} / TDD$ |
| バックホウ運転 | 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) | 日 | TB_{ICTd} | $TB_{ICTh} = TB \times 0.75 + TB \times 0.25 / 1.1$ $TB_{ICTd} = TB_{ICTh} / TBD$ |
| 世話役 | | 人 | $TR_1 \times 0.41 \times 0.45$ $+ TR_1 \times 0.59$ | 表 4.6 |
| 普通作業員 | | 人 | $TR_2 \times 0.41 \times 0.45$ $+ TR_2 \times 0.59$ | 表 4.6 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 4.7 |
| 計 | | | | |

(注1) 単価表に用いる数量について

ブルドーザ及びバックホウの運転時間、補助労務の算定に当たっては、「4. 施工歩掛」より必要な作業を各項目毎に算定する。

(注2) 情報化技術に係る 1 日当たり作業量 (QD) は次による。

$$QD(BD) = T1 / TD_{ICTh}$$

QD(BD) : ブルドーザの情報化施工技術における 1 日当たり作業量 (ha/日)

T1 : 1 日当たり運転時間 (6.5h)

TD_{ICTh} : 1ha 当たりの情報化施工技術におけるブルドーザ運転時間 (hr/ha)

$$QD(BH) = T2 / TB_{ICTh}$$

QD(BH) : バックホウの情報化施工技術における 1 日当たり作業量 (ha/日)

T2 : 1 日当たり運転時間 (6.9h)

TB_{ICTh} : 1ha 当たりの情報化施工技術におけるバックホウ運転時間 (hr/ha)

QD = 上記「QD(BD)」と「QD(BH)」のいずれか小さい方

(注3) ICT建設機械経費については、別途計上する。

②機械運転単価表

ほ場整備標準歩掛によるものとする。

6. ICT建設機械経費

次の経費を直接工事費に計上する。

①MC/MGブルドーザ技術

$$\text{ICT建設機械経費(円/式)} = \text{MC/MGブルドーザ技術機械経費(円/式)} \times \frac{\text{施工数量(ha)}}{\text{日当り標準作業量(ha/日)}}$$

MC/MGブルドーザ技術機械経費：各工事で見積もりを徴収

②MC/MGバックホウ技術

$$\text{ICT建設機械経費(円/式)} = \text{MC/MGバックホウ技術機械経費(円/式)} \times \frac{\text{施工数量(ha)}}{\text{日当り標準作業量(ha/日)}}$$

MC/MGバックホウ技術機械経費：41,000 円/日

7. 技術管理費

次の経費を共通仮設費（技術管理費）に計上する。

①MC/MGブルドーザ技術

・保守点検

0.07 人/日（土木一般世話役でMG/MCブルドーザの運転日数分計上）

$$\text{保守点検費(円/式)} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.07 \times \frac{\text{施工数量(ha)}}{\text{日当り標準作業量(ha/日)}}$$

- ・システムの初期費（使用方法の指導、サポート費用及び返却時の整備費用等）
548,000 円/式

②MC/MGバックホウ技術

・保守点検

0.05 人/日（土木一般世話役でMGバックホウの運転日数分計上）

$$\text{保守点検費(円/式)} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05 \times \frac{\text{施工数量(ha)}}{\text{日当り標準作業量(ha/日)}}$$

- ・システムの初期費（使用方法の指導、サポート費用及び返却時の整備費用等）
598,000 円/式

(2) 計上数量

当初設計においてICT施工を実施する施工数量は、対象工種における全施工数量の50%としているが、ICT建設機械の稼働実績等を踏まえ、その割合については、受注者及び発注者の協議により変更の対象とする。

なお、稼働実績については、該当工種別に、「ICT建設機械稼働実績報告書」（様式2）により報告するとともに、建設機械の稼働時間確認サービスの活用等、より詳細な把握に努めること。

(3) その他

本工事は、ほ場整備工事におけるICT施工の実施精度及び工事効率化等の効果の確認・検証を行うことから、受注者は、これに関する資料の作成や打合せ等に協力すること。

なお、資料作成に必要な費用については、監督員との協議の上、変更の対象とする。